

町制施行70周年記念プレイベント

# 野村萬齋 狂言の会



「二人袴」  
ふたりばかま

「佐渡狐」  
さどきつね



野村裕基

野村萬齋

2026年8月8日 **土** 開場13:30  
開演14:30

玉村町文化センター

「にしきのホール」(大ホール)

全席指定(税込) 一般6,000円 ペア券11,000円 高校生以下3,000円

※一般券は当日500円増 ※ペア券はLivePocket及び会場にて前売りのみの販売となります  
※前売りで完売の場合、当日券の販売はございません ※未就学児の入場はお断り致します

WEB先行販売 4月30日 **木** 9:00~

「LivePocket」



LivePocket

チケット発売 5月16日 **土**

会場  
窓口販売 9:00~  
.....  
会場  
電話受付 13:00~



玉村町文化  
振興財団HP

PC・スマホ

アオイチケット  
cncn.jp/aoi

店頭引取:セブンイレブン・ファミリーマート  
※ペア券の取り扱いはありません



アオイチケット

主催:(公財)玉村町文化振興財団/アオイスタジオ  
後援:玉村町/玉村町教育委員会

お問い合わせ:(公財)玉村町文化振興財団 TEL.0270-65-0600(9時~17時 月・祝休み)

# 番組

## 解説

### 小舞 名取川

### 佐渡狐

### 二人袴

内藤 連

金澤桂舟

内藤 連

地謡

岡 聡史

佐渡の百姓 中村修一

越後の百姓 飯田 豪

奏者 高野和憲

後見 月崎晴夫

親 野村萬齋

舅 深田博治

太郎冠者 月崎晴夫

聾 野村裕基

後見 金澤桂舟

#### 演目あらすじ

#### 佐渡狐 (さとうきつね)

年貢を納めに都へ上る途中で道連れになった佐渡と越後のお百姓。佐渡に狐のいるいないを巡り賭けをすることになったが、実は佐渡に狐はおらず、狐を知らない佐渡のお百姓は、奏者（次の役人）にワイロを使い味方についてもらう。しかし奏者の「佐渡に狐はいる」という判定に納得のいかない越後のお百姓に、狐の形格好を聞いただけ…。

越後のお百姓の追及に必死で答える、佐渡のお百姓と奏者の連携プレーが見どころです。世相を風刺しつつ、中世の人々のたくましく生きる姿が笑いの中に描かれた狂言です。

#### 二人袴 (ふたりばかま)

今日は聾入り（結婚後、妻の実家に初めて挨拶に行く事）の日。舅の家では準備を整え、聾が来るのを心待ちにしている。一方の聾は、一人で行くのは心細いからと父親に舅の家の門前で付き添われてやってくる。聾に礼装の長袴をはかせてやり、父は表で待っていたのだが、太郎冠者に見つけられてしまい、父親も舅に挨拶することになってしまう。しかし、長袴は一つだけ。さて、この親子はどうやってこの場を切り抜けるのか…。

明るいめでたさのある聾狂言の代表曲です。天真爛漫な聾とそれに慌てる父親の、舞台上から漂う何ともほのぼのとした雰囲気をお楽しみ下さい。

#### Profile

#### 野村 萬齋 (のむら まんさい)

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦一山月記・名人伝』『子午線の祀り』能狂言『鬼滅の刃』『日出処の天子』『ハムレット』など古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞大賞、坪内逍遙大賞等を受賞。石川県立音楽堂アーティストック・クリエイティブ・ディレクター、東京芸術大学・日本大学芸術学部客員教授、(公社)全国公立文化施設協会会長。

#### 野村 祐基 (のむら ゆうき)

1999年生。野村萬齋の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶応義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。「狂言アイデアの会」主宰。3歳の時に『靉猿』で初舞台後、子方として国内外で多数の舞台に出演、修業を続け、『三番叟』『奈須与市語』『釣狐』を披く。世田谷パブリックシアター『ハムレット』、能狂言『鬼滅の刃』で重要な役を演じ、活動の場を広げている。朝日カルチャーセンターや全国各地の狂言ワークショップで講師を勤めるほか、東京大学・早稲田大学・成城大学の狂言サークルを指導し狂言の普及に力を注いでいる。